

種子島の歴史・文化・自然について。

テーマ：(赤尾木城周辺の観光スポット)

写真やイラスト及びその説明 / 場所(地図上に書き込み、説明を書く)

※ 注意…単なる引き写しではなく、オリジナリティーを追究し、面白い内容を目指すこと。

赤尾木城…第十七代島主時氏寛永元年(1624)現在の
橋城小学校に城を構えて以来、明治(1869)の版籍奉還で、
種子島家の居城。城の名前の由来は、城内にあるこの木が
茂っていたためと伝えられている。

築城は、山麓流である。

現在は橋城小学校にある。

犬の馬場

この道は、古く
から武士が犬を飼育する
場所や犬の馬場と呼ば
れていた。

犬を飼育する場所の横に
犬を放し、馬に乗る代り
から矢張りという言い方
から馬場の横に犬の馬場と
呼ばれるようになった。



本所寺

種子島家の若年、
大明天年(1624)島主時氏
により創設された。
時氏、大種子島家、時
氏の代に法華宗に帰宗
する。以後全島を統一し、
法華信仰を弘めた。



井ノ上とカサリノ永俊尼

種子島家の殿様代
使用していた井戸で、
水の枯れ代が、にといわ
れていた。この井戸の北側に
階段があり、その上の屋敷を
井ノ上の屋敷といっている。
オリジナルの井戸に流され
たカサリノ永俊尼が晩
年過ごした場所。

犬の馬場と井戸
はすぐ近くに住
まれている。

① 赤尾木城

今日、橋城小
学林にあり。



② 犬の馬場

赤尾木城から
すぐ近くにある。



③ 井ノ上とカサリノ永俊尼

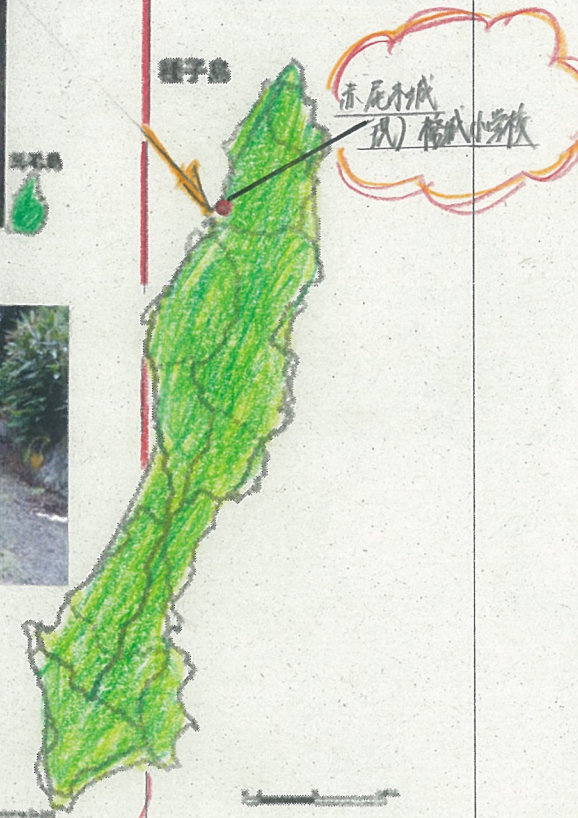
犬の馬場をめぐ
り。



④ 本所寺



市民会館の
すぐ横にあ
る。



※ 参考文献/出典(著者名、書名、出版社名、出版年)、HP(サイト名、URL)

(例)・井元正流『種子島』(春苑堂出版、平成11(1999)年)

・西之表市役所HP(<http://www.city.nishinoomote.lg.jp/admin/index.html>)

・西之表市役所HP(<http://www.city.nishinoomote.lg.jp/admin/index.html>)

評価

A: オリジナルな見解が盛り込まれている。B: 一通り書けている。C: 不十分な分量・内容。